

1. Web 研修

ライブ(リアルタイム)・オンデマンド



Webによる研修(Web研修)とは、パソコンやスマートフォン・タブレットなどの端末を使用し、インターネット上で研修を受ける仕組みのことです。

Web研修では、集合研修のように一カ所に集まって研修を受ける必要はなく、受講者はインターネットに繋がる環境さえあれば、好きな場所から研修を受けることができます。

Web研修の2種類の配信方法

①ライブ配信型 この研修では、講師がオンライン上で実施するセッションを参加者が開いて視聴することができます。

さらに、ライブ配信型の研修では、参加者がチャットや質問ボックス講師と対話することもできます。質問や疑問点をすぐに解決できることができるように、よりインタラクティブな学習体験を提供することができます。

ZoomやSkypeといったWeb会議ツールを利用したり、YouTubeのライブ配信を利用したりします。

②オンデマンド配信型 この研修では、事前に録画されたビデオ講義やコンテンツをオンラインで提供します。

参加者は自分の都合に合わせて、いつでもどこでもアクセスして学習することができます。

また、オンデマンド配信型の研修では、参加者が学習の進捗状況を自己管理できるため、個人の学習スタイルやニーズに合わせたカスタマイズが可能です。

しかし、対面で行わないので、参加者の緊張感を維持することが課題となる場合が多く、人が集中できる時間は一説によると50分程度といわれています。

これら①②の大きな違いは、リアルタイムで行われるかどうかです。

2. Web研修のメリット



場所・コスト・反復・学習状況確認

Web研修の大きなメリットは、場所を選ばないことです。従来の集合研修と比べ、会場の予約調整や交通の確保とそれらの費用負担がないため、コストを格段に抑えられます。さらに、オンデマンド型のWeb研修であれば、受講者それぞれが仕事の合間など都合の良い時間に受講できます。

Web研修に向いている内容は？

特にWeb研修で効果を発揮するのは、講義・講習・実習で完結する学習内容の場合にWeb研修のメリットを活かすことができます。

ライブ配信型は質疑も可能なので、研修内容の深掘り・グループワークなどに向いています。

また、基本的なパソコンスキルや、ITスキル、プログラミングなど、パソコンを使った技術面の研修を行う場合は、オンデマンド配信型のWeb研修をおすすめします。オンデマンド型のWeb研修であれば、受講者が実際のパソコン上の作業画面を見ながら学べるほか、わからない場面は何度も見返すことができるため、個々人の進捗に合わせた学び方が可能です。ただし、質疑は出来ないの、分からない点は個々に調べて解決することになります。

日本行政書士会連合会がWebで倫理研修を実施し、受講された会員は身をもってオンデマンド配信型研修の効率の良さを実感したところではないでしょうか。

Webを主体的にした研修「Web研修」は広い北海道を身近な環境に繋いでくれる良きツールとなることでしょう。

comment 組織における事業費のスリム化は喫緊の課題です。昨今、全てが値上がりしており結果、会費の値上げの議論は避けて通れないことと思われませんが、変革(改革)という観点で自助努力を進め経費圧縮に最大の努力を傾注すべきときではないでしょうか。

3. Web研修のデメリット



一方通行・集中力・通信環境トラブル

デメリットとして、1.Web研修でふれていますが、一方通行・集中力の問題があります。Web研修は、パソコンなどの端末やインターネット環境を用意しなければ受講できません。また、研修の内容によっては、カメラを設置して受講側が質問できて主催側が答えられるような研修ですとその設備も必要です。

あとは、それらを使うための少しのスキルも求められます。さらにネットが繋がらないことや設定のトラブルも心配です。ライブ配信型は、参加者を決められた時間に集めなければならないという時間の制約が発生することもデメリットでしょう。

Web研修に向いていない内容は？

例えば、接客スキルなどのビジネスマナーは、集合して行う集合型研修の方が身に付きやすいでしょう。

コミュニケーション活性化などを目的として行われる実習型研修も、Web研修では難しくなります。また、ノンバーバルコミュニケーション*4が伝わりにくいことも挙げられます。

※以上は、ChatGPT(<https://chatgptdemo.ai/jp/>)で検索したのも含まれます。

参考「北海道行政書士会webセミナー」でネット検索しますと以下のようなタイトルが出てきます。

- ・オンラインセミナー「特殊車両通行許可制度の現状と新制度創設について」の開催について(周知)
- ・WEBセミナー「消防法セミナー」の開催について(周知)
- ・WEBセミナー「建設業行政をめぐる最近の話題」の開催について
- ・WEBセミナー「建設キャリアアップシステム代行申請セミナー」
- ・WEBセミナー『「外国人との共生社会の形成のために」』
等等

北海道行政書士会がwebセミナーに力を入れていることの現れだと思います。

行政書士として仕事をするためには、最低限のパソコンスキル(技能)が必要

今の時代は、どの仕事もパソコンスキルが必須。行政書士も例外ではなく、「パソコンスキルがなくても大丈夫だ！不要だ！」なんて思っていると大変なことになるので注意された方がよろしいでしょう。



多くの方々のお仕事を思い浮かべると

書類の作成等をはじめ同業者や顧客とのやり取り等々、パソコンを使わない日はないでしょう。

そのためには、最低限のパソコンスキルは身に付けておくべきです。手書きがNG*3ではありませんが、効率が非常に悪いのは事実です。

①Excel、Word、PDFなどの編集や印刷

これらのソフトをある程度使いこなせないと、ダウンロードの雛形はExcel、Wordなどが大半なので書類の作成ができません。

②インターネット

官公署のホームページから「手引き」をダウンロードしたり、電子申請したり、情報を取集する等、インターネットは必ず使います。関連して、ネット上の情報を正しく検索し理解し活用できる能力(ネットリテラシー)は業務には勿論のことネット詐欺対策にも重要です。

③メール (LINE、facebook 等)

メールは、同業者等の他、顧客とのやり取りなどで使います。メーリングリストは同報通信の双方向利用が可能で電子会議的に使える便利な仕組みです。

④FAX活用

FAXとパソコンをwifiで繋ぎ便利な使い方も可能です。反面、脱FAXに取り組む企業は増えてきています。受注をFAXでしていた企業がデータ受注に切り替えたりする一方、データ発注に対応するシステム導入の費用に二の足を踏んでFAXのままという企業もあります。FAXはアナログの特性上セキュリティーに強いこともあってFAXが良いという考え方も根強くあるようです。

インターネット、メールはデジタル化の第一歩です。常日頃これらのツールに慣れ親しんで、自ら進んで情報の先取りに心がけましょう。

一般倫理研修の全会員受講義務化について

日本行政書士会連合会会則(昭和46年12月)が次のように改正され、この研修が義務化となりました。

第9章の2 研修 (行政書士の研修)

第62条の2

3 行政書士は、本会が行う行政書士に対する信用及び品位を高めることを目的とした倫理研修を受講しなければならない。

<研修科目>

①行政書士法及び関係法令、②人権、③職業倫理、④職務上請求書の適正使用

<受講期限(初回)>

令和5年8月31日時点で会員である者→「令和6年3月31日まで」・・・等



日本行政書士会連合会のホームページ (<https://www.gyosei.or.jp/>) にアクセスし、「研修サイト」をクリックして一般倫理研修を受講 (3時間程度)。

令和5年9月、デジタル庁と日本行政書士会連合会は、「誰一人取り残されないデジタル社会」実現のために必要な事業の企画及び実施に関して、連携協定を締結しました。

DX*1 (Digital Transformation、デジタルトランスフォーメーション) デジタル技術を用いて新たな価値を創造し、顧客体験の向上や効率化を図ること。

IT*2 (Information Technology) 情報技術のこと。スマートフォンや電子マネーなど普通の生活でもさまざまなITを使った製品が見られます。IT化とは情報を使った技術を活用することにより新たな価値を生み出すこと。 **NG*3** No good 「だめだ」の意の略。

ノンバーバルコミュニケーション*4 「言語以外で行うコミュニケーション方法」のことで、人の表情や声の調子、香りなど、人間が五感によって捉えることのできるコミュニケーションが該当します。



北海道行政書士会日高支部

Hokkaido Gyoseishoshikai
hidaka shibu

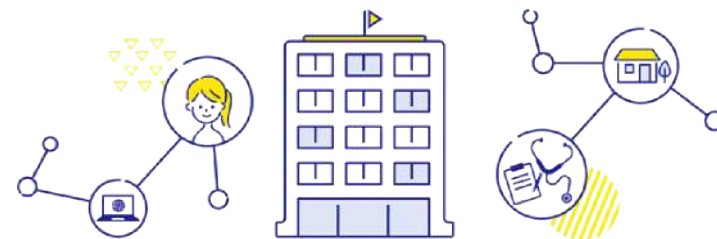
056-0025 北海道日高郡新ひだか町静内木場町 2-3-26

菊地淳史事務所内

電話 0146-42-3806 Fax 0146-42-3226

ホームページアドレス <https://www.hi-gyosei.jp/wp/>

eMAIL info@hi-gyosei.jp



「誰一人取り残されないデジタル社会」

行政書士

デジタル思考のすすめ



パソコンスキル
Web研修
行政書士倫理

DX*1を導入するためにはIT*2化が必要
IT化するためにはデジタル化が必要

北海道行政書士会
マスコットキャラクター



たくまくん

デジタル思考で
未来図作りを



北海道行政書士会日高支部

行政書士会日高

検索